

(2) 部は本部派を支持し其の他は現に分裂したものでや未だ態度明かならざるものあり従て兩派の勢力に就て或は七分（本部派）三分（外を派）或は四分（新黨派）六分（本部派）と觀察して大体に於て新黨派に走るもの、劣勢本を傳へられつゝあるも、尙大衆黨との合同問題に瀕んで地方特種の事情あるが故に大勢は未だ遽に斷言し難い。

かゝる際に當りて社民本縣支部聯合會中八幡市に次いで多數の黨員を擁する浮羽郡に先づ小池代議士を迎えて日本農民組合九州同盟會の結束を固め同組合本部の方針に従ひ新黨支持を決定し更に五月二日小倉市に於て新黨準備會福岡縣支部聯合會設置の協議會を開き新黨の勢力扶植に努めつゝあるは特に注目に値するのである。（社會民衆黨の分裂に伴ふ當地方

の狀勢は目下注視致し居り更に詳報の答）

三、大會の狀況

- 一、日時 昭和七年四月三十日自正午至午後四時四十分
- 一、會場 浮羽郡吉井町吉井劇場
- 一、出席者 一、二九六名
- 一、議長 阿部乙吉
- 一、書記 稻富稜人
- 一、大會の内容
  - (1) 開會の辭 同盟會主事 稻富稜人
  - (2) 農民歌合唱
  - (3) 議長副議長の選舉

(3)